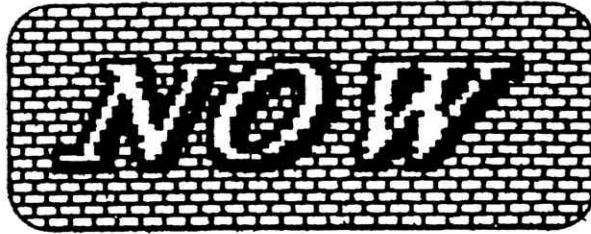


らいぶらり

附属図書館速報誌



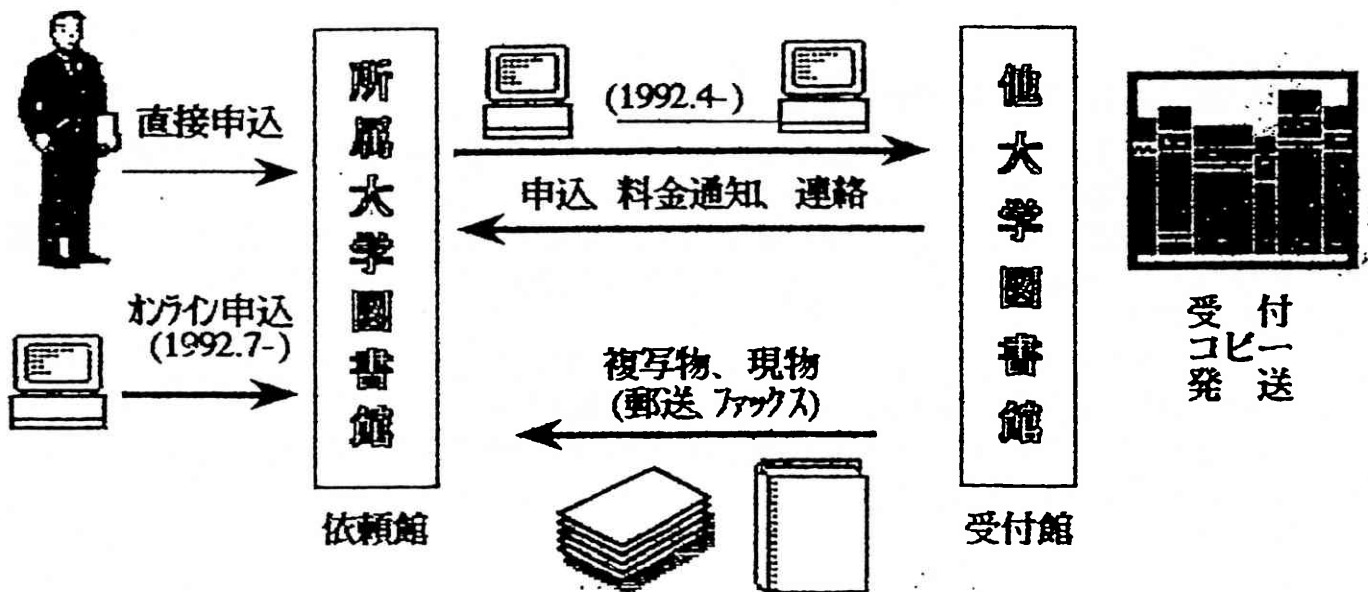
no.3

1991.8.26

発行:

東北大学附属図書館

文献複写 (学外分) の申込/受付がオンラインに



来年4月より、学外への文献複写、現物貸借の申込・受付がオンラインで可能になります。これは学術情報センターが昨年度より3ヶ年計画で開発中のILL (Inter-Library Loan; 図書館間相互貸借) システムの運用開始に伴うもので、第1年次は以下にあげるような基本機能部分を開発中です。

1. オンラインによる文献複写、現物貸借の申込・受付機能
2. 依頼時に学術情報センターの目録所在情報データベースの参照機能
3. 謝絶の場合の依頼先館の自動転送機能
4. 処理状況の問合わせに対する迅速な回答機能等

1992年の7月からは

当初は、学術情報センターの目録システム参加館同士のための運用ですが、来年の7月以降には、研究者が手持ちのパソコンから直接利用が可能となるほか、学術情報センターの検索サービス（NACISIS-IR）で必要な文献をみつけた時、即座に複写申込ができる機能も開発される予定です。

現場では何が要求されるか

このILLシステムの運用開始に伴い、研究者が所蔵調査も含んだ複写（もしくは現物貸借）依頼をすることが予想されます。このことから、レファレンス業務と文献複写（もしくは現物貸借）業務との間に境界線を引くことが非常に困難となり、図書館に対して、従来とは異なった新たなサービス体制が要求されることが予測されます。

また、複写の申込・受付に要する時間が非常に短縮されることにより、複写業務あるいは現物貸借業務そのものに要する時間がクローズアップされることになり、それぞれの大学における学術情報の流通体制の根本的な見直しをせざる事態がおこることも予測されます。

東北大学では

東北大学においても、このILLシステムの開発をうけてILLプロジェクトを発足させ、試行テストへの対応と同時に、今後の東北大学における学術資料の流通をいかに効率的なものとするかの検討に入っています。